

食と防災 シンポジウム2016

備えてまっか〜! まさかの時の食-V

いつ起こるかわからない災害から個人や家族、地域を守るためには、日ごろから私たち一人ひとりが、災害に対する知識を深め、備えを行っておくことが必要です。そこで、9月の「防災月間」に、防災の中で特に「食」の視点から、自助(個人)、共助(地域、大学)、公助(行政、病院)の災害時における必要性の理解を深める機会としてシンポジウムを開催します。

日時 平成28年9月2日(金) 13:20~16:10(開場12:30)

場所 相愛学園本町学舎講堂
(大阪府中央区本町4-1-23 地下鉄「本町」駅C階段4号出口すぐ)
※ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。

定員 400名 入場無料
※申し込みは先着順とさせていただきます。

見学コーナー 12:00~13:00
16:10~16:30

熊本地震等で活動した
災害支援医療緊急車両
「JDA-DAT河村号」が
やってきます。



講演 13:30~14:30

「最近の災害時における
避難所等の食環境について」
~東日本大震災、関東・東北豪雨災害、
熊本地震等での活動経験から~

兵庫県立尼崎総合医療センター
栄養管理部栄養管理課
栄養管理部次長兼栄養管理課長

下浦 佳之



パネルディスカッション
14:40~16:10

テーマ
「食の視点で今、もう一度考えよう!自助・共助・公助」

パネリスト

「ほんとに役立つ防災準備」

相愛大学客員教授
農林水産技術会議委員
坂本 廣子



「避難所でのよりよい食事提供に向けた
行政栄養士の役割」

大阪府健康医療部 保健医療室健康づくり課 総括主査 中村 清美

コメンテーター



大阪青山大学
健康科学部教授、
(公社)大阪府栄養士会会長
藤原 政嘉



兵庫県立尼崎総合医療センター
栄養管理部栄養管理課
栄養管理部次長
兼栄養管理課長
下浦 佳之

コーディネーター



相愛大学人間発達学部教授
相愛大学総合研究センター長

太田 美穂

主催 大阪府、農林水産省近畿農政局、相愛大学、大阪青山大学、公益社団法人大阪府栄養士会

後援 大阪府食生活改善連絡協議会、大阪市食生活改善推進員協議会

協賛 大塚製薬株式会社、大阪府焼菓子工業組合、株式会社 ニッタバイオラボ、旭松食品株式会社

展示コーナー 12:30~16:10

■「地域と連携した食と防災」

大阪府保健所栄養士

■「大阪産(もん)の紹介」

大阪府環境農林水産部

■「見て分かるがってん!防災」

坂本 廣子

■「若い仲間伝えたい!食と防災Ⅳ」

相愛大学人間発達学部 発達栄養学科[管理栄養士養成課程]

JDA-DAT 河村号

日本栄養士会災害支援チーム(The Japan Dietetic Association-Disaster Assistance Team:JDA-DAT)の活動車両として平成26年1月に整備。野外で調理ができる料理箱を搭載し、平時は東北を中心に仮設住宅の巡回や復興イベント支援、都道府県栄養士会でのJDA-DAT活動に活用し、災害時にはJDA-DAT緊急災害派遣車両として運用する。最近では関東・東北豪雨災害、熊本地震において活動した。

下浦 佳之

兵庫県立尼崎総合医療センター 栄養管理部次長兼栄養管理課長

兵庫県立光風病院、兵庫県立尼崎病院、兵庫県福祉部地域福祉課、兵庫県立こども病院、兵庫県立加古川医療センター、県立がんセンターを経て、現在は兵庫県立尼崎総合医療センター 栄養管理部次長兼栄養管理課長として勤務。神戸女子大学、神戸学院大学客員教授としても教鞭をとっている。また、(公社)兵庫県栄養士会副会長、(公社)日本栄養士会常務理事などを務めており、最近では関東・東北豪雨災害(常総市等)、平成28年熊本地震において「日本栄養士会災害支援チーム(JDA-DAT)」総括として被災地の支援に取り組んだ。

坂本 廣子

相愛大学客員教授/農林水産技術会議委員

台所は社会の縮図として、様々な問題を食で解決する社会派料理研究家。幼児期からの料理体験で育てるハンズオン教育を35年以上実践。日本の食育のさきがけでNHK教育テレビの「ひとりでもできるもん」の産みの親でもある。自給率向上の切り札として、米粉の推進普及を10年以上行う。阪神淡路大震災に被災し、日常生活を基礎にした「台所防災術」を編み出し安全な調理の普及を目指す。学術博士、キッズキッチン協会会長、近畿米粉食品推進普及協議会会長、神戸女子短期大学非常勤講師など多数。「台所防災術」など著書多数。

藤原 政嘉

大阪青山大学健康科学部教授/(公社)大阪府栄養士会会長

大阪生まれの大阪育ち。「食べ物」を介して人の健康に貢献できればと思い栄養学を学び、保健所・病院勤務を経験し、現在大学で教鞭をとっている。一方、栄養士会の役員として大阪府民の皆様の健康を栄養面からサポートすべきと思い種々の事業を展開している。また、東日本大震災時には「日本栄養士会災害支援栄養士チーム(JDA-DAT)」を組織し、被災者の栄養アセスメントや支援物資の栄養学的配慮など栄養サポートを実施した。

太田 美穂

相愛大学人間発達学部教授/相愛大学総合研究センター長

国立循環器病センター研究所を経て2006年から相愛大学人間発達学部教授。医学博士(大阪大学大学院医学研究科)。専門は生化学・栄養学。日本生化学会評議員、日本栄養改善学会評議員、(一社)エビデンスに基づく統合医療研究会理事などを務めている。1995年神戸市内で阪神・淡路大震災を経験した。大豆発酵食品テンペの機能性(整腸作用)を明らかにしそのメカニズムを追究している。非常時・災害時の栄養補給に関心を持っている。

【問い合わせ・申し込み先】大阪府健康医療部保健医療室健康づくり課

TEL 06-6941-0351(代) 内線2528 FAX 06-6944-7262

【締め切り】8月26日(金)

大阪府健康医療部保健医療室健康づくり課 FAX 06-6944-7262

へFAXでお申し込みください。

FAX 06-6944-7262

締め切り 8月26日(金)

氏名(ふりがな)	住所(所属)	電話番号

個人情報とは今回の食と防災シンポジウム以外の目的には使用いたしません。

参加いただける方への連絡及び参加証等は発行はいたしません。定員を超えたため参加いただけない場合のみ、こちらから連絡いたしますのでご了承ください。